

AMP

日本イー・エム・ピー株式会社
AMP (Japan), Ltd.

自動車用 FFC コネクタ

取扱説明書
(AUTOMOTIVE FFC CONNECTOR)

Instruction Sheet

411-5749

Rev. 0

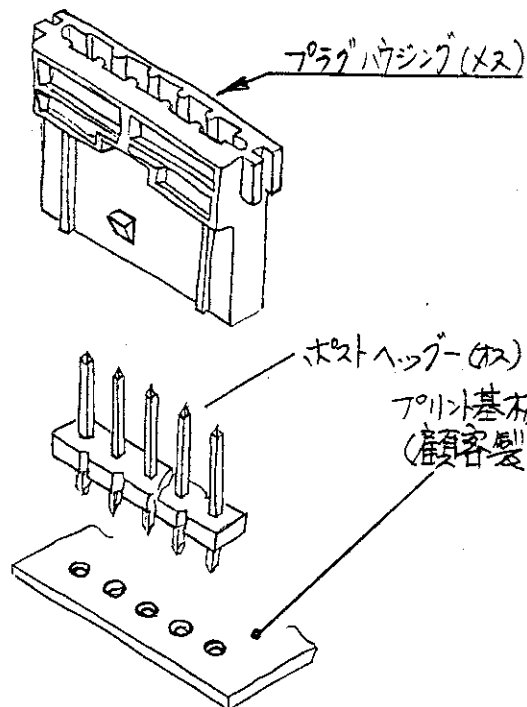
作成年月日	18 Jan. '96
改訂年月日	

この取扱説明書は、自動車用 FFC コネクタの取扱方法について説明しています。御使用前によくお読み下さい。

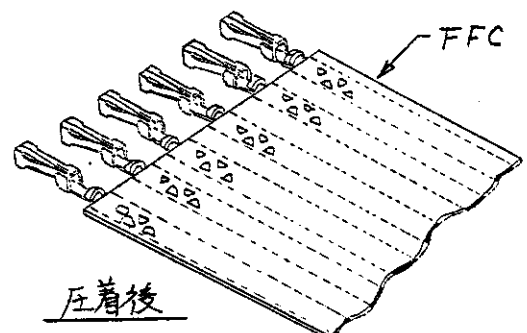
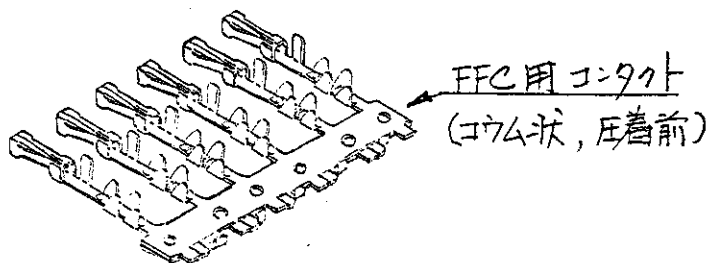
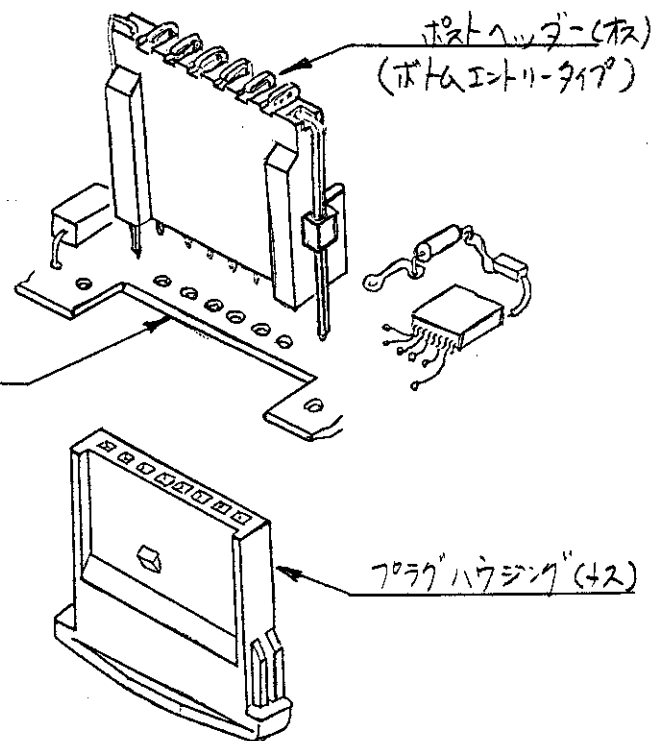
1. 製品の分類及び名称

自動車用フレキシブル フラット ケーブル (FFC) コネクタは下図のように
2種の製品から成る。

トップエントリータイプ



ボトムエントリータイプ



2. 関連規格

製品規格 ----- 108-5484, 自動車用FFCコネクタ
取付適用規格 ----- 114-5213, FFCコネクタの結線条件

3. 各工程での注意事項

3-1 ケーブル

114-5213に規程されるケーブルであること。

(導体ピッチ: $2.54^{+0.13}$, 導体厚: 0.035 ± 0.013 , ケーブル厚: $0.15^{+0.05}$)

3-2 圧着

当社指定の専用圧着機により 114-5213の内容を満足すること。

(特に重要な事を以下に記す)

- ・ 圧着高さ: 0.86 ± 0.05
- ・ 導体と圧着金具コンタクトのズレ

3-3 プラグハウジング(M2)への圧着済コンタクトの装着

ハウジングへ装着する場合方向性がある

コンタクトの尻(ランス)がハウジング(M2)の横窓に確実に
入り込む事を確認して下さい。

万一コンタクトを抜く場合、全ランスを押し下げ抜く事ができず
再度そのコンタクトを利用する場合はランスを初期状態まで
手直して下さい。

3-4 ヘッダーの半田付

半田付前の仮止め(キック)がないのでヘッダーの浮き、
斜め等のほいよう半田付して下さい。

ボトムエントリータイプはメスコンタクトと嵌合するポスト部に
ブックスが付着しているよう対策して下さい。

例として基板の嵌合部にミシン目を入れておき半田付後、
ミシン目を取り除く方法があります。

3-5 コネクタの挿抜

必ずハウジングを持って挿抜して下さい。

1個の圧着部強度が2~2.5kgfがありませんのでケーブルを
持って抜かないで下さい。

3-6 ケーブルの固定

ケーブルは振動の多い部分に固定しケーブルの共振等を防止して下さい。